



新潟大学J-PEAKS NOW Vol.11

REPORT

新潟大学 J-PEAKS WEEK 2026 開催報告

このたび、J-PEAKS WEEK 2026を無事に終了することができました。2週間にわたり開催した各種イベントには、対面・オンラインも含め約1,000人の方にご参加、ご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。期間中は、大学、産業界、行政機関をはじめとする多様な参加者との交流を通じて、新たな出会いや学びが生まれ、研究力強化や社会との共創に向けた貴重な機会となりました。本学としても、こうしたつながりを大切にしながら、今後も皆様とともに歩みを進めてまいります。本号では、J-PEAKS WEEK 2026前半に開催した主要イベントの様子をご報告します。後半に開催したイベントは次号でご紹介しますのでご期待ください！



大学経営人材サミット2026

2026年9月7日、東京コンベンションホール（東京都中央区）において「大学経営人材サミット2026」を開催しました。本サミットは、大学経営の高度化や社会・産業界との共創を支える「大学経営人材」をテーマに議論を行いました。当日はハイブリッド形式で開催し、大学関係者236名、産業界・金融機関56名、行政機関24名の計316名が参加しました。



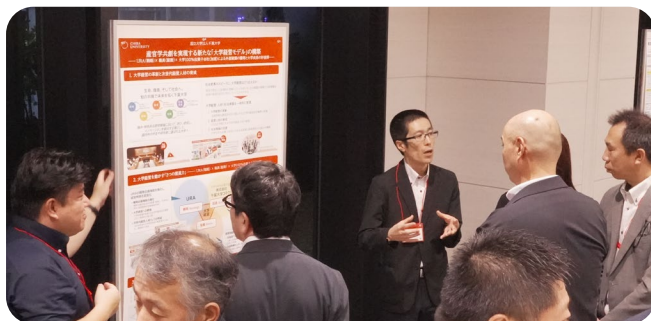
第1部の全体会議では、染矢俊幸学長による主催者挨拶の後、文部科学省および経済産業省から来賓挨拶をいただきました。続く基調講演では、大学経営における資金獲得、経営能力、人材流動性の重要性と、大学の枠を超えた共同での人材育成の必要性が示されました。

また、海外の先進事例として米国大学の取組が紹介されたほか、岡山大学、立命館大学、東北大学、新潟大学による事例発表が行われ、研究力強化や産学官共創に向けた組織改革、人材配置の実践例が共有されました。さらに、ポスターセッション参加大学によるショートトークでは、大学経営力向上に向けた多様な取組が紹介されました。産業界からは、産学連携を通じた人材育成や、大学と企業間の人材交流の重要性についてメッセージが寄せられました。



第2部では、全国15大学によるポスターセッションと意見交換会を実施しました。参加者は各大学の先進事例について活発に議論し、大学経営人材に求められる能力や専門性、人材育成のあり方、組織横断的な情報共有などについて意見を交わしました。また、大学改革や研究力強化を持続的に推進するため、多様な専門人材が連携しながら学内外をつなぐ役割の重要性が共有されました。

本サミットを通じて、大学経営人材の育成や組織改革に関する知見の共有と、大学、産業界、行政機関を結ぶ新たなネットワーク形成が進みました。意見交換会では、本取組を継続的に発展させることが確認され、次回は岡山大学が主催大学となって開催される予定です。新潟大学は今後もJ-PEAKSを通じて研究力強化と社会との共創を推進するとともに、大学経営人材の育成と大学改革に関する全国的な議論・連携の場づくりに貢献してまいります。



ChBRI見学ツアー「脳研究イノベーション拠点の最前線」

2026年9月9日（水）、「ChBRI見学ツアー ～脳研究イノベーション拠点の最前線～」を旭町キャンパス「脳といのち」のイノベーションハブ（BIH）」で開催し、12名の皆さまにご参加いただきました。担当UA（University Administrator）の案内のもと、ChBRIの概要やJ-PEAKSにおける役割・研究戦略の紹介、BIH施設見学、質疑応答を実施しました。

施設見学では、世界有数の研究リソースや最先端の顕微鏡設備を紹介し、AIを活用したデータ解析や健康寿命延伸に関する研究などについて活発な意見交換が行われました。本ツアーを通じて、参加者の皆さまにChBRIへの理解を深めていただくとともに、今後の共同研究や施設利用につながることが期待されます。



共用設備基盤センター公開・見学イベント「旭町オープンラボ2026」

2026年9月9日、新潟大学旭町地区において、共用設備基盤センター（CCRF）の研究設備集約施設公開・見学イベント「旭町オープンラボ2026」を開催し、研究者・関係者約10名にご参加いただきました。本イベントは、研究設備の実機や得られるデータを紹介し、本学の研究活動のさらなる推進を目的として実施しました。

当日は、フローサイトメーター（セルアナライザー・セルソーター）、レーザーマイクロディセクション（LMD）、EPMA、質量分析装置などの共用設備に加え、共用実験スペース（オープンラボ）を見学いただきました。セルソーターSH800Sでは高精度な細胞分取技術を、LMDでは試料の切断から回収までの流れを実演しました。また、EPMAでは元素分析の活用事例を紹介し、研究における分析技術への理解を深めていただきました。

さらに、研究共用設備利用相談では、研究内容に応じたサンプル作製や装置選定について意見交換が行われました。今後リニューアルを予定している共用実験スペースについても紹介し、研究準備から解析までを支援する環境整備について説明しました。

今回のオープンラボは、CCRFが研究設備の提供にとどまらず、研究計画から解析までを支援する拠点であることを紹介する機会となりました。今後も共用設備を活用した研究支援の充実に取り組んでまいります。



RESOURCES

J-PEAKSにおける大学プロセスDXの取り組みについて

J-PEAKSでは、研究者や事務職員の時間確保のための手続き等の効率化を進める大学プロセスDXを推進しています。その一環で導入した事務DXシステムと、創造時間を生み出すプロジェクトについて紹介します！

Microsoft 365 Copilot で事務DXを加速

近年、急速に普及し、様々な分野で活用が進む生成AI。大学においても教育・研究だけでなく、事務における活用の可能性が注目されています。新潟大学では事務DX推進の一環として、令和7年度からMicrosoft Copilotの業務導入を開始し、業務効率化や業務の高度化に向けた活用を進めてきました。これまでも会議におけるメモ作成や手書きアンケートの文字起こし・要約などのユースケースを創出し、その効果を学内外へ発信してきました。このたび、J-PEAKSの補助金を活用してMicrosoft 365 Copilotを120ライセンス導入し、より多くの職員が日常的に利用するMicrosoft 365各種サービスと連携した形で、生成AIを活用できる環境を整備しました。Microsoft 365 Copilotは単なる業務効率化ツールではなく、職員が企画立案や課題解決など、より付加価値の高い業務に取り組むための強力な支援ツールとなることが期待されています。本学では今後も生成AIの活用を通じて事務DXをさらに加速させるとともに、活用事例や知見を学内外へ広く共有し、大学事務の発展に貢献していきます。

新潟大学事務DXについてはこちら

YouTube：http://www.youtube.com/@NU_jimuDX
note：https://note.com/nu_jimudx

教職員の声を大学改革の力に ～TC-Post（創造時間ポスト）がスタート～

本学では、2030年度までに年間60万時間の創造時間を生み出すことを目指し、「創造的活動時間創出プロジェクト」を進めています。本プロジェクトは、創造的活動の時間を個人の工夫や努力だけに委ねるのではなく、業務や組織の仕組みそのものを見直すことで確保しようとする取組です。その一環として開設したのが、TC-Post（創造時間ポスト）です。TC-Postでは、業務上の困りごとや改善提案、効率化につながった好事例などを匿名で投稿できます。現場で日々業務に向き合う教職員だからこそ気付く課題や工夫は、組織や制度を見直すための貴重なヒントとなります。大学改革は、教職員一人ひとりの気づきを共有し、組織の改善につなげることから始まります。TC-Postは、現場の声を組織の力へと変え、創造的活動に向き合う時間を生み出すためのプラットフォームです。教職員一人ひとりの声から始まる大学改革を支え、J-PEAKSの実現を後押しする取組として、TC-Postを位置付けています。詳細：<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/news/1219041/>
※第1回は9/30まで（継続実施予定）



● J-PEAKSプチコラムー現場からのひとこと便り ●

J-PEAKS WEEKが終わりました。WEEKの前や期間中は、準備やイベント対応に追われる慌ただしい日々でした。しかし、その一方で普段はなかなか接点のない研究者や企業、自治体の方々が交流し、新たなつながりが生まれる場面を数多く目にすることができました。特に印象的だったのは、セッション終了後も会場のあちこちで議論が続いていたことです。また、先導研究フォーラムの来賓の佐藤先生から、「特に、若手の先生方が元気なのは素晴らしい」と言っていただけました。J-PEAKSが目指す研究力強化は、単に研究成果を増やすことだけではなく、人と人をつなぎ、新しい挑戦を生み出す土壌づくりでもあるのだと改めて感じます。J-PEAKS WEEKで芽生えたつながりが、これからどのような研究や連携へ発展していくのか、今から楽しみにしています。【TM】

● お問合せ・ウェブサイト ●

○お問合せ：新潟大学 研究企画推進部 研究推進課
TEL：025-262-7174
MAIL：kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp

○新潟大学J-PEAKS ウェブサイト

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/>

本学J-PEAKS関連のイベント情報や活動状況をご確認いただけます。



○新潟大学J-PEAKS 学内者向けページ

<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/2PLWiy>

全学への迅速な情報共有および事業運営の透明性を図るため、予算配分を含むグランドデザインや会議資料等を、常時学内限定公開しています。よりも詳しい情報をご覧になりたい場合は、こちらにアクセス願います。

